

ジゼル・ベルクマン

Gisèle Berkman

(国際哲学コレッジ プログラム・ディレクター)

来日連続講演 (日本学術振興会・外国人招へい研究者事業)



映画「哲学への権利」より

ジゼル・ベルクマン (Gisèle Berkman)

国際哲学コレッジ・プログラム・ディレクター。雑誌「ポエジー」編集委員。18世紀啓蒙期のフランス文学・思想を専門とし、ルソーやディドロなど啓蒙期の作家に関する論文多数。20世紀の文学・思想にも造詣が深く、ブランショ、デリダ、ドゥギーなどに関する論者がある。著書に『バートルビー効果——読者としての哲学者』、『父子関係、起源、幻像——レチフ・ド・ラ・ブルトヌの『ムシュ・ニコラ』における個体化の方途』、編著にジャン＝リュック・ナンシーをめぐるシンポジウム記録集『外の形象』など。

すべての講演で参加無料、事前予約不要。20日の東京大学講演を除いて、講演原稿の日本語訳を配布し、質疑応答では通訳を付けますので、フランス語を理解しない方でも参加可能です。

7月18日(水) 17:00-19:00

首都大学東京 (南大沢)

本部棟2階 特別会議室

「カタストロフィの思想」

司会：西山雄二 (首都大学東京)

協賛＝学長裁量傾斜研究費「カタストロフィと人文学」

7月20日(金) 17:00-19:00

東京大学 (駒場)

18号館4階 コラボレーションルーム3

「バートルビーと現代哲学」

司会：小林康夫 (UTCP)

コメント：郷原佳以 (関東学院大学)

主催：共生のための国際哲学研究センター (UTCP)

7月23日(月) 16:30-18:30

東北大学 (川内北キャンパス)

教育・学生支援部3階 大会議室

「カタストロフィの思想」

司会：寺本成彦 (東北大学)

主催：東北大学国際文化研究科

7月25日(水) 18:00-20:00

一橋大学 佐野書院

「私たちの思考を妨げるもの」

司会：鶴飼哲 (一橋大学)

7月27日(金) 17:00-19:30

立命館大学 (衣笠キャンパス) 学而館第三研究会室

「ジャック・デリダ／ジャン＝リュック・ナンシー

脱構築は単数か、複数か？」

討論者：松葉祥一 (神戸市看護大学)、加藤恵介 (神戸山手大学)

亀井大輔 (立命館大学) 司会：加國尚志 (立命館大学)

主催：人文科学研究プロジェクト「暴力からの人間存在の回復」

8月2日(木) 15:00-17:00

早稲田大学 文学学術院 (戸山) キャンパス36号館382教室

「ジャックとジャン＝ジャック (デリダとルソー)」

討論者：藤本一勇 (早稲田大学)、西山雄二 (首都大学東京)

主催：早稲田大学文学学術院 表象・メディア論系/フランス文学コース